

表銀座縦走

Hiya

期 日：2015年7月29日(水)夜~8月1日(土) 曇りのち晴れ

コース：<29日>竹橋22:40~(バス)~、<30日>中房温泉5:30/45→合戦小屋8:35/50→燕岳10:33/50→燕山荘11:20/03→常念・槍ヶ岳14:49/55→大天井ヒュッテ15:58、<31日>大天井ヒュッテ5:25→ヒュッテ西岳7:57/12→水俣乗越9:20/30→ヒュッテ大槍11:33/02→槍ヶ岳山荘13:10/17→槍ヶ岳13:42/00→槍ヶ岳山荘14:25、<1日>槍ヶ岳山荘5:38→槍沢ロッジ8:50/00→上高地13:04/15:00~(バス)~新宿20:05

参加者：Hiya(単独)

燕から蝶へ、烏帽子から槍へは昔歩いたことあるが、燕から槍へは今回が初めて。

<7月30日>



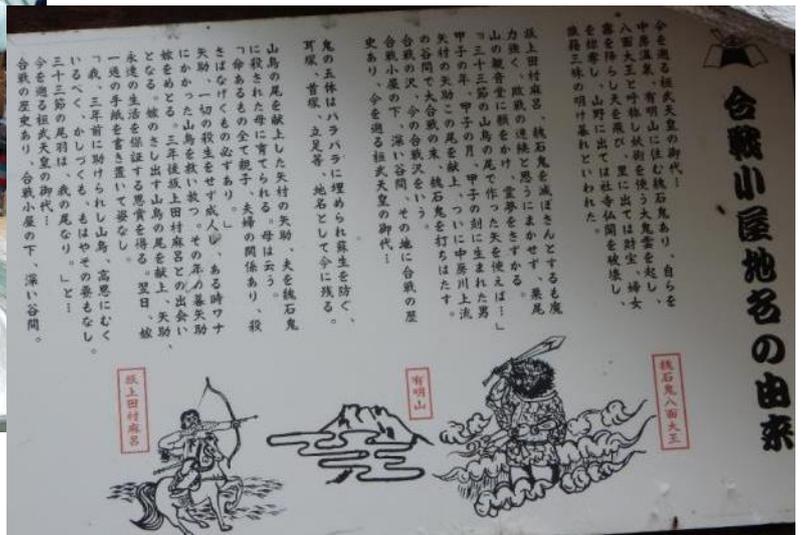
毎日アルペン号で中房温泉の燕岳登山口に。竹橋の毎日新聞社発。予約・前金制。



登山口から合戦小屋まで急登続くが、ほぼ等間隔にベンチが4カ所あり、道も整備されて登り易い。



3時間程で合戦小屋へ。名物のスイカで体を冷やす。



合戦小屋の地名は坂上田村麻呂の鬼退治伝説に由来しているという。大和勢力による先住民征服があったのか。



更に1時間程で燕山荘前の稜線に出たがガスで視界が悪い。



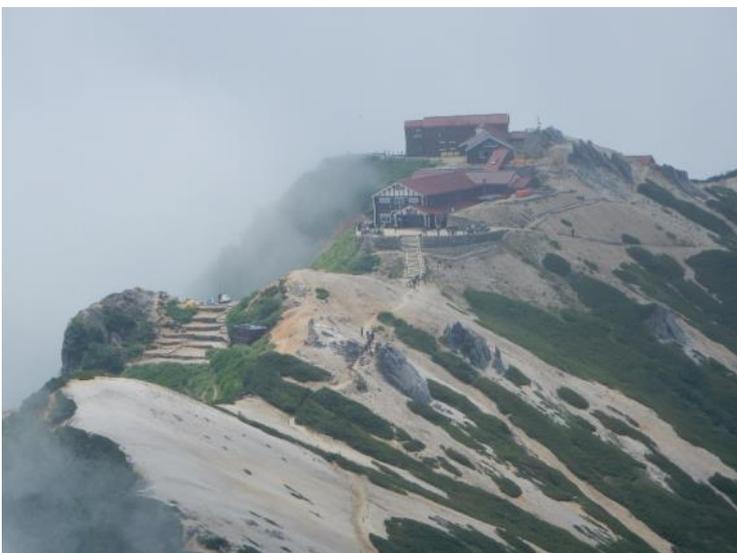
燕岳に向かうとガスが晴れ花崗岩の山頂部が見えてきた。



花崗岩に刻まれた山頂表示。



山頂から燕山荘を経て大天井へと縦走路が続く。



山頂から燕山荘に戻る。



白い花崗岩砂礫にコマクサが咲く。



燕山荘前から見る燕岳。晴れ間が出てきた。



昼食を済ませ大天井への縦走路に入る。
緩やかな上り下りが続く。
槍ヶ岳は終始雲の中。



約100mの大下りを下り、上り返す。奥に大天井。



ガスのなか鎖と梯子の切通岩を通過。
梯子右脇の岩壁に小林喜作のレリーフ。



大天井手前の常念・槍分岐を右に入る。



大天井ヒュッテへの道は思ったより長く厳しかった。



やっと大天井ヒュッテが見えてきた。燕山荘から約4時間。
右手は牛首山、奥は赤岩岳。



小振りな山小屋で登山客も多くなかった。
夕食は4時半。いつもトンカツという。



夕食後、牛首の展望台に登り槍穂連峰を眺める。



夕暮れの大天井

<31日>



朝食後、小屋の前から登山道に入る。
暫くは平坦な道が続く。



尾根道に出ると裏銀座の山々が飛び込んでくる。
双六、三俣蓮華、鷲羽、水晶



東と北に鎌尾根を広げた槍ヶ岳が見えてくる。



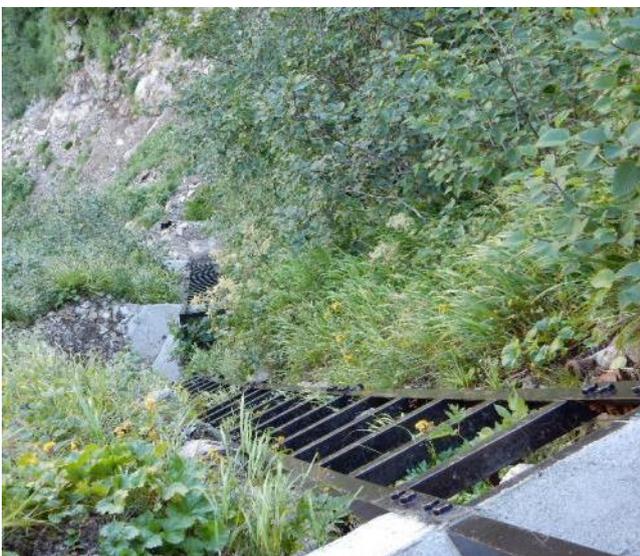
赤岩岳の尾根道を行く。前方奥に前穂。



ヒュッテ西岳に着く。
小屋の先には穂高連峰と酒沢。



ヒュッテ脇から水俣乗越まで200m下り、
正面の東鎌尾根を700m上る。



下りは鎖、梯子の連続。



水俣乗越からは槍沢に下りられる。



ヒュッテ大槍まで厳しい急登が続く。鎖、梯子が多い。



ヒュッテ大槍からは槍が間近に。



槍の穂先の下を横切り、肩の槍ヶ岳山荘へ向う。



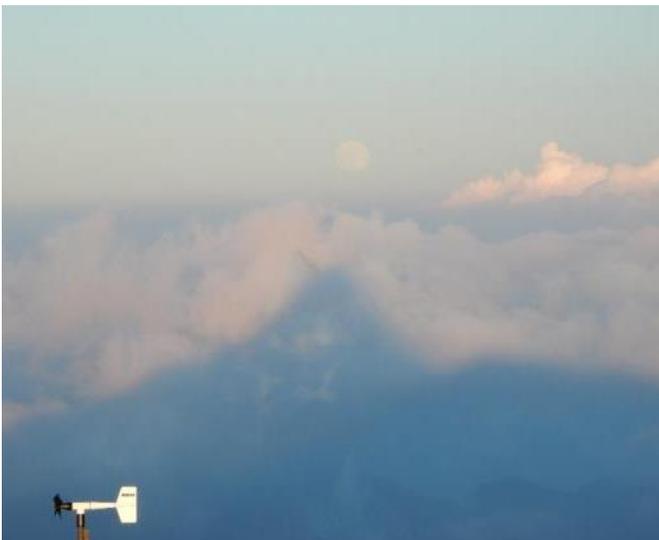
槍ヶ岳山荘に到着。大天井ヒュッテから8時間弱、一休み後、山頂へ向かう。



山頂へ最後の梯子を登る。



周囲に雲がでて山頂からの眺望は今一つ。

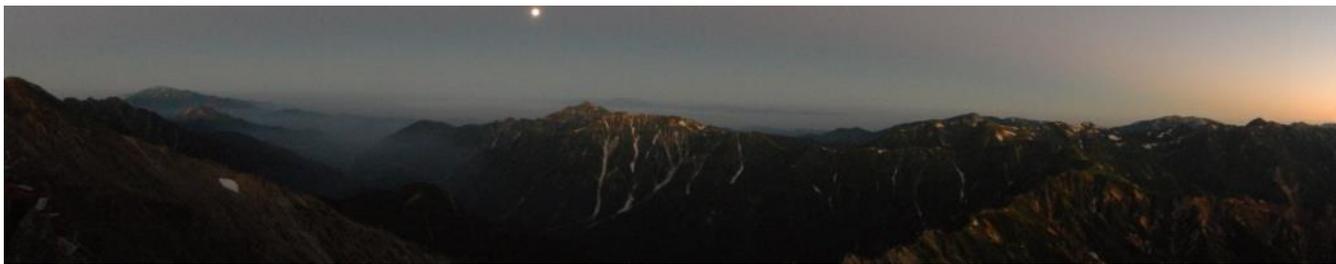


登る人、山頂に立つ人、下りる人。

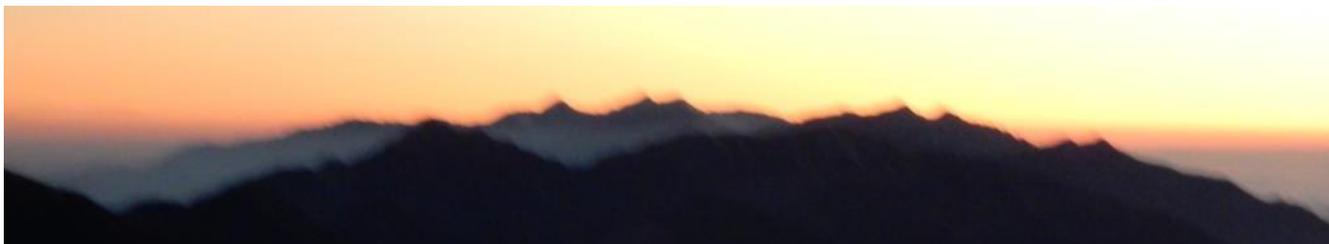
影槍と満月のセットは珍しいという。マンモス山小屋。多くの登山客だがまだ余裕は相当ありそう。夕食は3組中2組目、5時40分。



<1日>



夜明けの北アルプス (西穂、乗鞍、焼、笠、抜戸、黒部五郎、双六、三俣蓮華、薬師、鷲羽、水晶)



(後立山、白馬、立山方面)



富士山



槍ヶ岳山荘の朝



槍沢を下りる。



槍の見納め



上高地に到着。肩の小屋から約7時間半。
さわやか信州号で新宿駅西口へ。席指定制、前金不要。